

神秘的な海の世界に生きる

魚たちの知恵と勇気!!

文部科学省選定 教育映画祭

動画部門 優秀作品賞受賞

文部科学省選定 カラーアニメーション

上映時間 26分

(消費税込み)

視聴覚ライブラリー

がんばれ

スイミー

取扱店

北辰映像株式会社

〒350-0461 埼玉県入間郡毛呂山町中央3-32-3

TEL: 049-298-5792 FAX: 049-298-5793

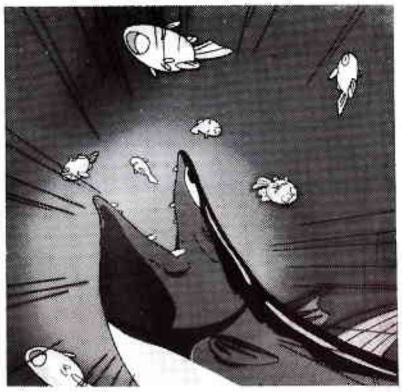
E-mail: co@hokushineizo.com



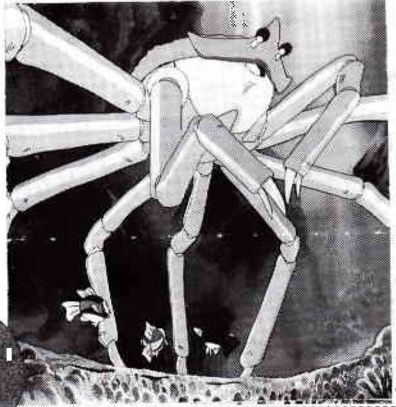
ぱん  
がん

# スイミー

「スイミー」主題歌子守歌 ● 作詞・名村宏 ● 作曲・いけたけし (歌手・西園寺ハチス映像)



かいせつ



- スタツフ
- 脚本……………井口秀樹
  - 演出……………尾鷲英俊
  - キャラクター……………
  - 原画……………
  - 美術……………椋尾 壺
  - 音楽……………佐藤秀夫
  - 録音……………関和男
  - 進行……………清水耀治
  - 作詞……………名村 宏
  - 作曲……………いけたけし
  - 歌……………子門 真人

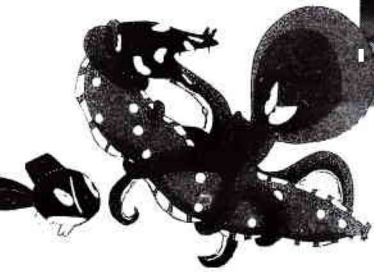
この作品は、オランダ生まれの絵本作家、レオ・レオニの原作「スイミー」をもとに作られたオリジナル短編アニメーション映画です。レオニ氏は、今米国でもっとも活躍している芸術家の一人で、作品には、「せかいいちおおきなうち」「フレデリック」「さかなはさかな」「じぶんだけのいろ」などが有り、児童図書「スプリングフェイス賞」、金のリンゴ賞などを多くの賞に輝き、中でも「スイミー」は世界中の子ども達に親しまれています。日本でもロングセラーとなり、小学2年生の教科書にも採用され、優良図書として、全国の図書館で、もっとも読まれている作品です。原作を読んでもわかる様に、非常にシンプルで、スッキリとしたお話ですので、逆に想像力を刺激されるのです。制作にあたり原作の素材さと、ユーモラスな味を損う事なく、美しい珊瑚礁の海を背景に、ほのほのとした温き、驚き、笑いをふんだんに取り入れて、子ども達を二十五分間、海の中に引き込んで、魚にしてしまいたいと思います。

## 全国視聴覚ライブラリー貸出堂々第1位

「全国視聴覚教育連盟 平成7年度報告書より」 平成13年度 第2位

あ  
ら  
す  
じ

広い広い海の中、サザエさんごの周りで小さな魚の兄弟たちが楽しく暮らしていました。みんな赤いのに1匹だけ真黒、でも誰にも負けないほど速く泳ぎました。その名は、「スイミー」。ある日、スピード競争をしていたスイミーたちに、大きなマグロが突っ込んできました。驚ろき逃げたスイミーは、仲間とはぐれ、疲れ果て、暗い海の底におちてしまいました。暗い岩間をさまようスイミーは、海のきらわれ者の大ダコやウツボを、大きな群をつくって追い払ったイワシのすばらしい知恵と勇気に感心しました。仲間たちをさがすスイミーは、今度はマハタのハタジロに追われましたが、勇敢なアオブダイの兄弟たちに助けられました。ヘトヘトになりながらも函をくいしばり乗り越えて行くスイミー。でも、そんな海の中もマリンスノーやホタルイカと美しいものもいっぱいいます。カイガラや海ツウのダンスにさびしさを忘れ、踊りだすスイミーは、いつの間にか懐しいサザエさんごにたどり着きました。でも仲間の赤い魚たちの姿は見あたりません。大きなマグロが泳ぎまわっているの、さんごのかげに隠れていたのです。そこでスイミーは、いろいろ考えました。「うん」と考え、イワシの群のことを思い出しました。「そっ、みなで泳ぎなう」。海で一番大きな魚のフリをして…。スイミーの呼びかけに答え、仲間の赤い魚たちが一緒になって泳ぎだしました。それを見ていた別の魚たちも加わり、大きな魚の1団となった時、スイミーはいいました。「ぼくが目になるう」……



優良図書として、  
小学校2年生の  
教科書にも採用されています。

〈小集団学習の場合〉

幼稚園・保育園・小学校低学年の道徳・特活・生活科などの中で映像を楽しむとともに、主人公の思考とそれを実践する勇氣に共感させ、生活状況の改善に工夫することの大切さに気づかせる。

〈集会学習の場合〉

地域子ども会、母子の集い、児童館子ども映画会などで映画上映後、話し合いの機会を設けて、「考えることの大切さ」に気づかせる。

◇ 映画の主題

スイミーの知恵で、小さな赤い魚たちが、広い海の中を思いきり泳げるようになった喜びを味わわせ、事態に対応した工夫や、考えることの大切さに気づかせたい。

◇ 教材の分析 — 中心的要素

小さい赤い魚たちが、大きい魚が恐ろしいからと、穴の中にひっそり暮らす。黒い魚のスイミーが工夫こらした名案で、恐怖の魚があたふた逃げていく。楽しい暮らしに戻ったという喜びに共感をもつとともに、もっとよい状況づくりには〈思考・工夫〉の大切さに気づかせたい。

〈学習の要点〉話し合いポイント

年代によって、現象に心ひかれるだけか、その行動を通して、それがもつ意義・価値について考えるに至るか、かなりのひらきが予想されるので、次の点について話し合ってみよう。

(1) この映画で心に残った点は何か。

(2) マグロにきょうだい全部がひと飲みになされた、たった一匹逃げのびたスイミーの気持ちはどうだったろう？

(3) おもしろいなと思ったところはどこか。

(4) もし、スイミーが大きい魚の形の泳ぎを考え出さなかったら、小さい魚たちはどうなったか。

(5) スイミーのえらいと思うところはどこか。考えることがなぜ大切なことなのか。